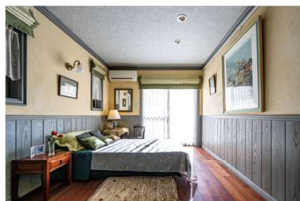




内装だけでなく外装にも西洋漆喰を使用。アルカリ性で調湿や防カビの効果もあるため湿度の高い日本の気候に適しており、経年変化も楽しめる



上、離れの蔵は、1階がタイルのショールーム、2階は屋根裏を活かした開け家風のオーディオルームになっている。下、畳や和紙といった和の素材や設えも参考に



上、ヨーロッパのホテルの客室のような洋室。天井やモールディング、窓枠、壁紙の色をブルーに塗装し直したことでエレガントさが増した。下、ブルーのモザイクタイルと鏡がアクセントになった洗面室



建具や欄間の再利用で 古い家の思い出と価値を残す

近年は「両親から受け継いだ家をリノベーションしよう」という相談も増えてきていること、「LDKだけとか、和室を掘りこたつする」といった予算に応じた部分リノベーションもできます。古い建具や欄間を再利用するアレンジも喜ばれています。女性建築士がキッチンや洗面台、カップボードやテレビ台といった設備や家具の造作にも対応しており、空間のトータルコーディネートも可能です。古い建物の安全面を適性に診断し、適切に改修できる技術は同社の強み。家の中から外までワンストップで相談できる心強い存在だ。



古民家再生 住宅展示場 風のくら
〒818-0046 福岡県筑紫野市大字山口 2122
ハウズランド社
TEL 092-922-8771 (完全予約制)
https://h-land.jp



右、かつての民家にあった「土間」を現代の暮らしに取り入れLDKに。テラコッタ色のタイルを敷き結んで開放きもできる種ストープも設置。オリジナルのモダンな建具も空間に彩りを添える。左下、料理をしながら家族と会話ができるオープンキッチン。広いカウンター付のキッチンも前面の収納も使い勝手にもこだわって設計したオリジナル造作

土間に薪ストーブに掘りこたつ、暮らしを彩るアイデアが満載

庭で育てて部屋に飾る 手間ひまをかける楽しみ

「風のくら」では、家の中と外をつなぐあまいなエリア「土間」のある暮らしを体感できる。通り土間にテラコッタタイルを敷き詰め、玄関ホール兼ラウンジに再生ゲストのおしゃれなおしやペリなどコミュニケーションに使用したり、趣味や創作などのクリエイティブワークに活用したり、ペットがのびのびと過ごせるスペースにしたりと、新たなライフスタイルへの想像もふくらむに違いない。レンガで囲んだ二角にノルウェーのヨツル社製の薪ストーブも設置。冬は暖を取りながら煮炊きにも使えるほか、織き火状態になれば五徳を使ってピザを焼くこともできる。薪割りや手入れの必要もある道具だから、便利さにおいては、スイッチ一つで暖かくなる電化製品と比べようはない。しかし、炎



で庭で摘みできたものです。自然を感じながら手間ひまをかけて楽しむ暮らしを提案したいのです。そして、自然素材で建てた家は時間が経つほど味わいが増し、丁寧につくられたものは陳腐化することがなく、次の世代に受け継ぐ価値があるものなのも知っています。

を囲んで癒されたり楽しんだりする時間を豊かにといえるのではないだろうか。